

平成27年度 特別推進研究 審査結果の所見

研究課題名	スピン軌道エンジニアリング
研究代表者	新田 淳作
科学研究費委員会 審査・評価第一部会 における所見	<p>本研究は、スピン軌道相互作用が強く、室温においても制御可能な半導体、金属、有機材料などを研究対象とし、室温で動作する電場制御スピントランジスタ等を実現しようとするものであり、学術的に大きな意義がある。応募者は、半導体素子におけるスピン軌道相互作用の電場制御を初めて行った研究者であり、スピントロニクス分野で多くの世界的な研究成果を上げている。本研究の実施により、我が国の研究水準の大幅な向上に貢献することが期待できる。</p> <p>以上により、特別推進研究として採択することが適当であると判断した。</p>